- 「環境未来都市」構想とグリーンイノベーション -

環境、社会、経済の融合による 新しい価値の創出

村上周三

東京大学 名誉教授 (工博) (一財) 建築環境・省エネルギー機構 理事長

論点

1. 「環境未来都市」構想

2. 価値創出に向けた社会システムイノベーション

3. 各都市における価値創出の事例

選定された環境未来都市 (11都市,2011)

下川町(北海道、人口:3,645人)

豊富な森林資源を活用した自立型の森林総合産業の 創設や、集住化モデルによる自立型コミュニティの構築

釜石市(岩手県、人口:3.8万人)

エネルギーの地産地消や生活応援センターでの保健・医療・ 福祉および介護の一体化等の産業福祉都市の構築

大船渡市、陸前高田市、住田町(岩手県、人口:合計6.7万人)

環境防災未来都市として高台を利用した高齢者に 配慮した連結型のコンパクトシティの創設

富山市(富山県、人口:41.7万人)

LRTなどの公共交通を中心としたコンパクトシティ の取組や高齢者・障碍者・児童を仕切らない 富山型のデイサービスの取組

被災地

○ 被災地以外

東松島市(宮城県、人口:4.0万人)

再生可能エネルギーによる自立分散型 電源の構築や、CASSBEE健康チェック リストを活用した健康住宅の推進

岩沼市(宮城県、人口:4.4万人)

震災がれきを活用した減災のための 「千年希望の丘」の造成や、交通の要所 という立地を活かした国際福祉都市

新地町(福島県、人口:8,110人)

ICTを活用した情報通信インフラの構築 と、ソフトインフラである地域コミュニティ を活用する取組

南相馬市(福島県、人口:6.6万人)

震災を乗り越え、一次産業を核として、 加工・流通経路も独自に確保する 「循環型地域産業」の創造

柏市(千葉県、人口:40.5万人)

柏の葉キャンパスで大学等の「最先端の知」を活かし、 「公民学連携による自律した都市経営」を目指す取組

横浜市(神奈川県、人口:369,2万人)

大都市が抱える課題に対して地域の特徴や企業や市民団体等 の市民の原動力を活かし、環境から高齢化対応まで幅広い取組

北九州市(福岡県、人口:97万人)

公害克服や環境国際協力の経験・モノづくり の技術を基盤に「市民・企業・行政の連携」、 「地域のつながり」を重視した取組

□ 先行する「環境モデル都市」プログラムとの連携

グリーンイノベーションのテコとしての「環境未来都市」構想

取り組み

- ・環境改善、超高齢化等に対応するための社会・経済システム のイノベーション
 - ⇒ 新しい価値創出による社会・経済のグリーン化
- ・東日本大震災の復興支援

ビジョン

・世界各地の都市のグリーンイノベーションに向けた <u>普遍的モデルの国際的発信</u>

(リオ+20) と環境未来都市 (2012)

日本政府主催の公式サイドイベント: 「Future Cities We Want」



外務大臣の挨拶





村上周三(有識者検討会委員長、当時)による、 「環境未来都市」構想の紹介

グリーンイノベーションに向けた3つの価値創出

・超高齢化対応

·防災·安全·安心

· 健康·介護

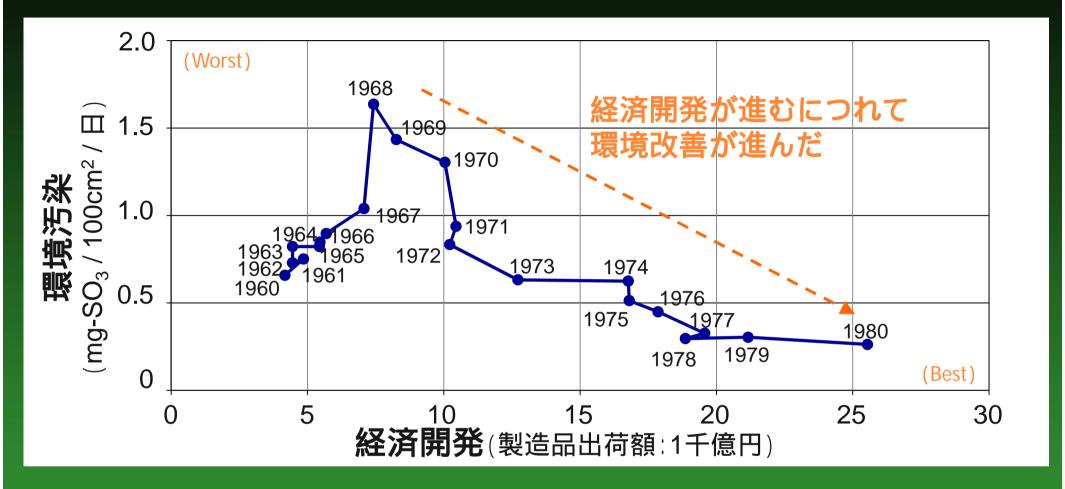
・ソーシャル

キャピタル

⇒ 環境価値創出、社会的価値創出、経済的価値創出

・低炭素 ・生物多様性 ・資源循環と3R 環境価値 ·水·大気環境 創出 ・超省エネ社会 等 ・知識情報集積 社会的価値 経済的価値 ・ナレッジ・エコノミー 創出 創出 ·雇用·所得 ・新産業 · 社会的連帯/公平 ・社会的コスト の最小化

環境価値と経済価値の両立(北九州市の事例、世界銀行による分析)



- □ 1968年までは、経済発展と共に環境汚染が進行
- □ 1968年以降は、大幅な経済発展にも拘わらず環境汚染が減少
- ⇒ 環境価値と経済価値の両立を達成

論点

1. 「環境未来都市」構想

2. 価値創出に向けた社会システムイノベーション

3. 各都市における価値創出の事例

都市におけるシステムイノベーションの階層モデルり

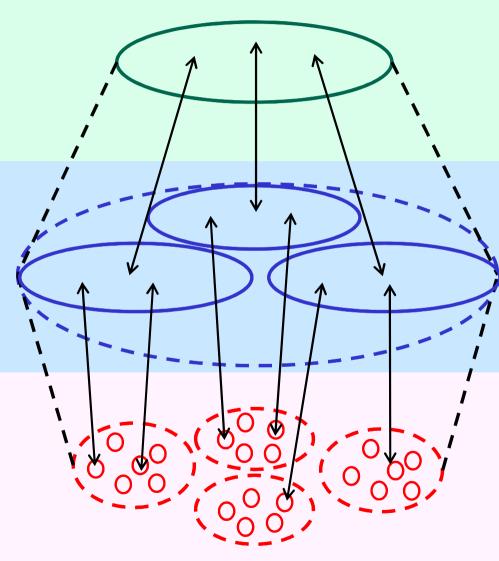
Landscape (macro-level)



Regimes (meso-level)



Niches (micro-level)



社会のパラダイム (文化、価値観)

社会の枠組み (組織化、制度)

個別的、実験的試み ⇒ 変化のきっかけ

1) Multi-level Perspective, Geels & Kemp 2000

環境未来都市における 価値創出の階層的枠組み

国際展開によるグリーン文明確立への貢献



ベストプラクティスの蓄積と 価値創出の制度化による グリーンイノベーションの推進



各都市のフロントランナーによる 価値創出の新しい試みの支援

Landscape (macro-level)

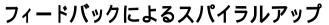


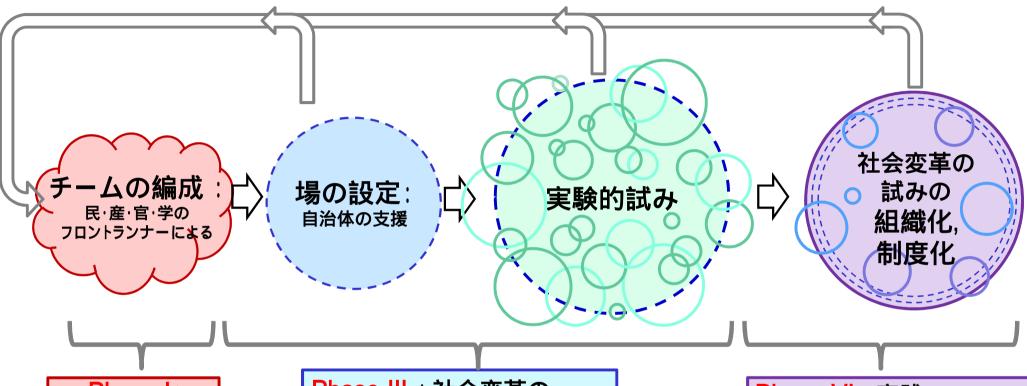
Regimes (meso-level)



Niches (micro-level)

環境未来都市における社会システムイノベーションのプロセスリ





Phase I:

状況の把握

Phase II:

社会変革の ダイナミックスの 解明 Phase III: 社会変革の

枠組みの構築

Phase IV:都市の将来像の

見える化

Phase V:短期、中長期の

計画のすり合わせ

Phase VI: 実践

Phase VII: 市民参加と 社会的定着

1) Transition Management in Urban Context. by C Roorda, N.Frantzeskaki, D.Loorbach etc.

いかにして価値創出の仕組みを内包させるか? 自律的好循環の形成による価値創出の制度化

- ⇒ヒト・モノ・カネを官・民が重点投資し、同時に規制緩和
- ⇒情報・サービス・ビジネス等が集積・融合
- ⇒ グリーン化に向けた新しい試み (Niches)
- ⇒新しい価値の創出
- ⇒新しい価値が創出されれば、
 さらにヒト・モノ・カネが内外から集まる
- ⇒自律的好循環と価値創出の制度化 (Regimes)

価値創出推進のために整備すべき課題

- 1) 効果的な推進体制(ガバナンス)の構築
- 2) 市民参加の促進
- 3) 資金メカニズムの整備 (PPP / PFI)
- 4) 成果の社会発信(成功事例、失敗事例)
- 5) 海外展開
- 6) 進捗管理 (PDCA)

日本再興戦略 (2013.6, 閣議決定)と「環境未来都市」構想

1. 日本再興戦略における三つのアクションプラン

日本産業復興プラン

戦略市場創造プラン

国際展開戦略

- 2. 「環境未来都市」構想の位置づけ
 - □> 上記施策における都市政策の推進において、 横串機能を果たす

論点

1. 「環境未来都市」構想

2. 価値創出に向けた社会システムイノベーション

3. 各都市における価値創出の事例

環境未来都市における価値創出の取組: 非被災地

| 都市名 | 取組 | 分野 |
|------|--|----------|
| 下川町 | 森林総合産業システム構築 | 環境·経済 |
| | 集住化モデルの構築 | 社会 |
| | 『柏の葉・AEMSセンター』の整備、 マルチ交通シェアリング・システム拡充 | 環境 |
| 柏市 | 地域力ポイント制度/ホワイト証書による カーボンオフセットシステム制度 | 環境·経済·社会 |
| | トータルヘルスケアステーションの創設、 市民健康サポーター制度 | 社会 |
| | 大学・研究機関発ベンチャーを対象とした総合的支援 | 経済 |
| 横浜市 | 横浜スマートシティプロジェクト | 環境·経済 |
| | 持続可能な住宅地モデルプロジェクト | 環境·経済·社会 |
| | Y-PORT事業 (Yokohama Partnership of Resources and Technologies) | 環境·経済 |
| 富山市 | 薬都とやま薬用植物栽培工場の構築 | 環境·社会·経済 |
| | LRTネットワークの形成 | 環境·社会·経済 |
| | ヘルシー&交流タウンの形成 | 社会·経済 |
| | 地域コミュニティ主体の交流空間の整備 | 社会·経済 |
| 北九州市 | 北九州スマートコミュニティ創造事業 | 環境·経済 |
| | まちの森プロジェクト | 環境·社会·経済 |

環境未来都市における価値創出の取組: 被災地

| 都市名 | 取組 | 分野 |
|------|----------------------------------|----------|
| 釜石市 | エネルギー地産地消の推進 | 環境·経済·社会 |
| | 多様なエネルギー環境を活かした産業創出 | 経済·社会 |
| | 産業福祉都市かまいしの構築 | 社会 |
| 気仙広域 | コンパクトシティの整備 | 環境·社会·経済 |
| | 医療・福祉・介護の先進モデルの構築 | 社会 |
| | 先端技術及びノウハウを活用した水産業、農業、林業の振興 | 環境·経済 |
| 東松島市 | 東松島方式震災がれき処理(復興事業) | 環境·社会 |
| | MATSUSHIMA 自然エネルギーパーク構想の実施 | 環境·社会·経済 |
| | 安全で健康的な住宅の整備 | 社会·経済 |
| 岩沼市 | エココンパクトシティの形成 | 社会 |
| | 医療情報ネットワーク導入による予防医学推進事業 | 社会 |
| 新地町 | 多様な地域分散・自立型エネルギー供給による | 理培. 汁. |
| | 「スマート・ハイブリッド・ネットワーク」の構築 | 環境·社会 |
| | 多様な再生可能エネルギーを活用した新たな産業の創出 | 環境·社会·経済 |
| | 高齢者のQOL 向上に資する多様な地域情報サービスの提供 | 社会·経済 |
| 南相馬市 | 一次産業の再生(EDEN計画) | 環境·経済 |
| | 再生可能エネルギー基地の整備・運用 | 環境·社会·経済 |
| | 誰もが暮らしやすい世代循環のまち(Co-housing)の考えを | 社会 |
| | 取り入れた集落の形成 | 14五 |

北九州市における価値創出の枠組み

緑の増加、

生物多樣性

の保全

身近な

場所での

環境活動

【エネルギー】

北九州スマート コミュニティ創造事業

【健康】

生活習慣病予防 及び重症化予防

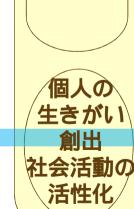
地域で健康づくり

【緑】

ふれあい花壇・菜園

響灘ビオトープ

環境価値 創エネ・省エネ によるCO2削減



健康で

安心な

生活の確保

社会的価値

東日本

大震災の 復興支援 社会的 連帯感 の回復

経済的価値

ピジネス 創出 雇用の

医療費・ 介護費 の安定化

新たな

雇用の 拡大

拡大

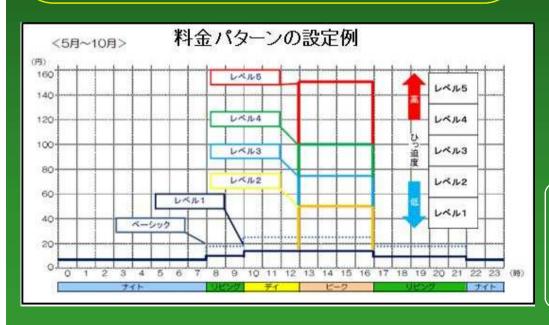
北九州市におけるスマートコミュニティの創造事業

モデル地区(東田地区)での電力需要の平準化 実証実験の事例

- ·**ダイナミックプライシング**の導入
- ・電力需要の少ない時間帯の価格を割安に
- ・電力需要の多い時間帯の価格を割高に
- ・季時別料金の適用

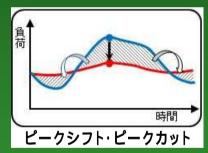
·スマートメーターの導入

電力需要の平準化(消費エネルギーの削減)

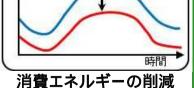


効果

ピーク時と 夜間では 約20倍の 価格差



[a] 荷



♪ 20%の ピーク カット に成功

□ コミュニティスケールの省エネの新しいスキーム

富山市:新たなコンセプトに基づくコンパクトシティの実現

公共交通を軸とした拠点集中型のコンパクトなまちづくり

⇒「団子」と「串」による都市の将来構想



団子: 徒歩圏

串:団子を

結ぶ

公共交通



南相馬市における復興の取組み: 再生可能エネルギーを活用した植物工場プロジェクト

建設:市

(復興交付金)

運営:農業事業者

東北電力

系統電力

買電 (400kW) (固定価格買取制度) 供給

6次産業化の 連携・支援

植物工場

太陽光発電利用 ・水耕用ポンプ ・空調 など



福島復興ソーラー(株) ((株)東芝等が出資)

小水力等農村地域資源 利活用促進事業(農水省)

太陽光発電(500kW)

発電電力のうち 約100kWを 植物工場へ 供給

・残りを売電



体験・交流による成長支援

被災地の子供 達が自ら考え 行動する力を 習得

地元と全国の 交流を促進



植物工場プロジェクト

イニシャルコスト: 市が整備(復興交付金)

植物工場の経営: 市内の農業者に無償貸与

ランニングコスト: 維持管理費等は 経営者が負担

スケジュール:

·着丁:2012.11

·竣工:2013.3(予定)

参考資料:

南相馬ソーラー・アグリパーク事業 福島復興ソーラー(株)



産業創出の新しいスキーム

海外都市における新しい価値創出の事例

- 1. ハンブルグ市: Hafencityプロジェクト
- 2. ストックホルム市: Hammarby Sjostad地区
- 3. ポートランド市:都市再生事業
- 4. グレーター・マンチェスター都市州:産業構造転換

5. プトラジャヤ市: グリーンシティプロジェクト

ハンブルグ市: Hafencityプロジェクトにおける価値創出

老朽倉庫街の再開発

- 二〉活気あふれる文化、商業、居住機能 等の建設
- □ 再開発による新しい価値の創出
- 1)・ハンブルグ市が地主から旧倉庫街の土地を収用し販売譲渡
 - ・得られた資金をもとに特別基金を設立
- 2) この基金を環境配慮型インフラへの投資や、民間投資の誘致費用の原資に



これまでの取組みが評価され、2011年の「欧州環境首都賞」を受賞



□ 投資先の1つとして、低炭素型地域熱供給インフラ

- ・熱源や燃料の切換え投資を継続的に実施 🖒 地域全体の省エネ・低炭素化
- ・例:バイオ起源メタンガスによる燃料電池やウッドボイラ等

参考文献: 工月良太、村上周三、加藤俊樹、"都市・地域の自律的な発展に貢献する公民連携事業の事業スキーム(第1報、第2報)"、 2013年度日本建築学会大会投稿論文

ストックホルム市: Hammarby Sjostad地区における価値創出

市が所有する臨海部の土地の再開発

- ⇒ 自立循環型のまちづくり
- ⇒ "Hammarby Model" として、新しい価値の創出

計画目標:「1990年代当初に建設された他地区に比べ、環境への影響を半減する」





- ・バイオ燃料による発電と排熱の地域熱供給
- 下水からの再生水の熱と ヒートポンプを活用した地域 冷暖房
- 下水汚泥や生ごみからのバイオガスによる発電



"Hammarby Model" として自律循環型のまちづくりのモデルに

ポートランド市:都市再生事業による価値創出

市中心部の総合的な再生事業

- □ 環境、経済、コミュニティの持続可能な発展を目指す
- □ 経済対策と都市再生の両面からの新しい価値の創出
- 1) 開発公社(Portland Development Commission (PDC)) が 開発資金の90%を、将来の固定資産税の増収を担 保とした債券(Tax Increment Financing: TIF債)で調達
- 2) PDC は基盤整備(緑地、道路、住宅地等)を 行い、そこへ民間投資を呼び込む

実施例: 住宅の省エネ改修事業 民間投資の誘発と雇用の創出





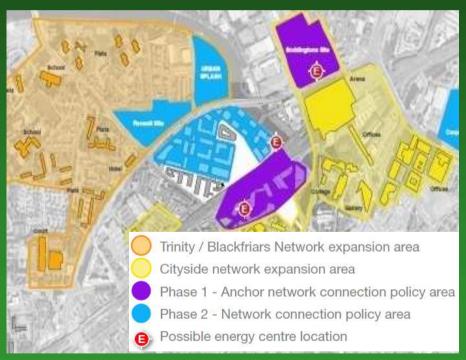




グレーター・マンチェスター都市州:産業構造転換による価値創造

都市の産業構造転換にあわせたまちづくり

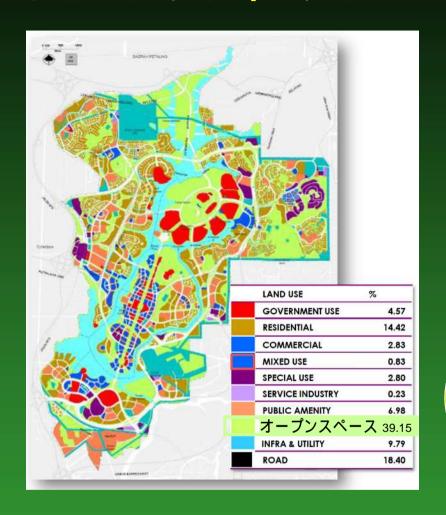
- □◇市と民間が合同で基金を設立
- □>公益事業分野(都市交通、エネルギー、環境、治安、健康・病院等) における新しい価値の創出
- 1) **事業分野別の地域まちづくりファンドを**設立 これを財源として開発機構(GMCA) がイン フラ投資・開発を実施
- 2)インフラ開発による国税の増収分を、 GMCAが中央政府から交付金の形で回収 (Earn Back Model)
 - <エネルギー分野の取組例 >
- ・風力、太陽光、バイオマス発電など地元の再生 可能エネルギー導入
- ·双方向型の電力融通等を含む分散型エネル ギーシステムの導入



地域の資源·資金の好循環による地域経済活性化のモデルに

(GMCA: Greater Manchester Combined Authority)

プトラジャヤ市: グリーンシティ実現による価値創造



緑溢れる新首都の建設プロジェクト

- □ 約40%のオープンスペースを確保
- □ 経済成長と環境保護の両立による新たな価値の創造

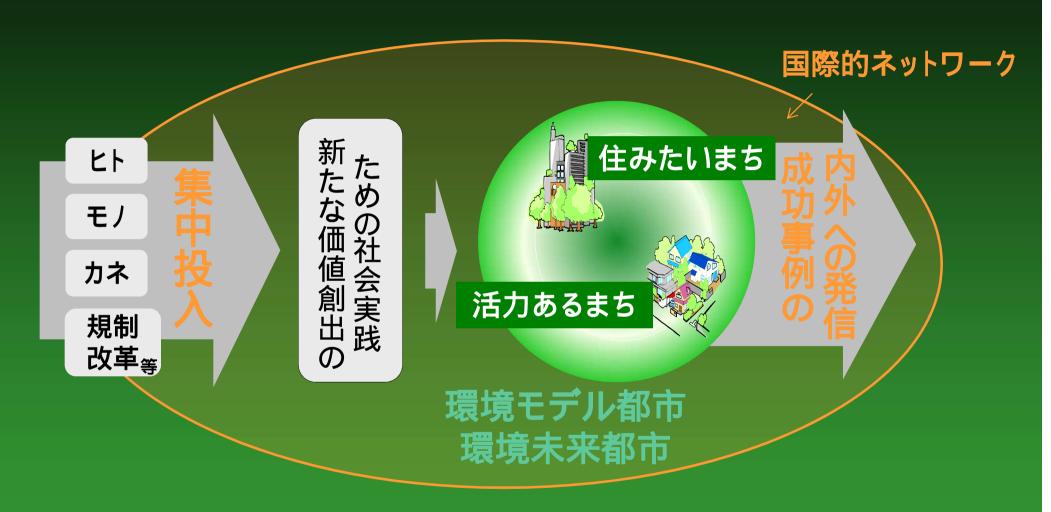
<プトラジャヤ市の2025年に向けた三つの目標>

廃棄物抑制 廃棄物の 50%削減 CO₂排出を 60%削減

冷却化 気温の2 低下を実現

- 1) プトラジャヤ開発公社が日本の国立環境研究所等と国際協働の下でマスタープラン『Putrajaya Green City 2025』を作成、都市開発を先導
- 2) プトラジャヤ市のグリーンシティ事業はマレーシアのパイロットプロジェクト 成功事例を今後国内の他の都市へ波及·展開(ショーケースとしての役割)

国際的ネットワークの構築:グリーンイノベーションの普及に向けて



- ⇒ 内外の都市等との連携による成果の発信と共有
- □ それぞれの都市固有のグリーンイノベーションの誘発へ

環境モデル都市/環境未来都市と国際貢献

